



〈2年生後半〉

計画委員会の話合いの段階で、教師が事前に板書内容を指導します。本時はできるだけまかせられるようにしたいものです。

#### 【中学年】

中学年になると、計画委員会そのものを子どもたちに任せて活動させることが大切になってきます。書記についても、次の3つのことについて指導します。

\* 「第〇回」と書かせる。

自分たちの話合いが積み上げられていることを意識させるために大切なことだと考えます。これは、板書するのではなく、こういう掲示物を準備しておくという方法も使えます。

\* 提案理由は提案者の考えをそのまま書かせる。

少々長くなる場合もありますが、提案理由は話合いの中で対立が起こった場合に立ち返る必要が生じることがあります。そこで、提案者の思いをそのまま書かせるようにします。

\* 話合いの小見出しは話合いの順序に従って書かせる。

意見を分類して書くというのはなかなか難しいものです。そこで、まずは話合いの順序に従って書かせることを指導したいと思っています。

#### 【高学年】

高学年では、児童の実態と能力に応じて段階的な指導のめやすを持っておきたいものです。

\* 話合いの主な意見を記録し、決定事項に印をつけさせる。

高学年になると、議題によっては様々な意見が出るようになります。そこで、出された意見をすべて書くのではなく、「まとめながら書く」ということが必要になってきます。

\* 同じような意見を一つにまとめたり、線で結んだりして、結論が出るまでの経過を分かりやすいようにまとめさせる。

慣れてきたら、記録を図式化することを指導したいものです。色チョークや線を使って、どういう経緯で話合いが進んでいったかをまとめさせるようにしたいと思っています。

\* ノート記録には、未解決の問題や教師からの指導助言も記録させ今後の活動に生かさせる。

ノートへの記録は、今後の参考にもなりますので、未解決の問題に印を付けたら、教師からの指導助言を記録させたりしておくといいです。

---

## 2 学級通信を考える～その3：教育観を書く

山口市立平川小学校 梶田崇晴

---

どんな先生も、ある一定の教育観（教育に対する考え方）をもっておられると思

ます。そこで、先生方の教育観を学級通信に書きましょう、というのが今回のテーマです。

教育界は専門用語だらけです。それも分かったようで分からないことが多いように思います。例えば、「思いやりの心をもった子どもを育てたい」というのにしても、「思いやり」とはそもそも何なのか、そのためにどんな取り組みが必要なのかなどを具体的にしておかないと科学的な実践にはつながりません。教育を科学として成り立たせるには、理論とその具体化（実践）が必要だと思います。今、ちまたには教育書があふれています。それらの教育書を読んで、書かれていることに共感し、影響を受けることはよくあることですが、そのほとんどが抽象的な表現になっていることが多く、私たち教師は、それで「分かったつもり」になってしまうことが多いんです。それじゃ、理論の具体化にはなりません。そこで、自分の教育観を親向けに書き直してみようというわけです。親に分かってもらうにはよほど具体的でないと理解してもらえません。ここでも学級通信を利用しようというわけです。

保護者に向かって「書く」ということは「責任をもつ」という意味でもあります。「書いた」からには実行しなければ、親の信用をなくしてしまいます。つまり、このことは、自分の考えを保護者に知ってもらうのと同時に、自分自身を追いつめるということにもつながります。逃げ場がなくなってしまうというわけです。

教師という職業は樂をしようと思えばどれだけでも樂ができる仕事です。しかし、逆にとことんやろうと思えば、限りなく仕事がある職業でもあるのです。受け持った子どものためにどの程度の仕事量を選択するかは、それぞれの考え方によりますが、子どもは教師を選べません。ということは、担任を持ったからには本気で子どもたちに向かうのが礼儀かなと思うのです。そこで学級通信を使って自分を叱咤するのです。いかがでしょうか。

---

### 3 メルマガ情報交換広場

---

このメルマガを使って、学級作りについての情報交換をしませんか？メルマガ購読者のみなさんの実践をお知らせください。このメルマガを双方向の情報交換誌にしていきたいと思います。

- ◆盛り上がったイベント活動の情報～イベント名や活動の内容
- ◆私の学級の朝の会・帰りの会のプログラム
- ◆子どもが本気になった係活動

こんな情報が知りたい、こういう特集を組んで欲しいというものがありましたら下記アドレスまでメールでお知らせください。

☆ sugi-net@c-able.ne.jp

学級活動メーリングリストの皆さん，希望の会の皆さん，ぜひとも実践やご意見などを知らせただいて，メールマガジンの活性化にご協力ください。お便り待っています。

-----  
4 メールマガ編集部からのお知らせ  
-----

◆次号の予告◆◇◆

第19号は11月中旬ごろ発行予定です。

次号では、「子どもが主体的に取り組む話し合い活動 その9～学級会の環境整備～」について紹介する予定です。

◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◇◆

現在の購読者は120名です。少しずつ購読者が増えてきています。もっともっとメルマガ仲間を増やしたいです。

お知り合いの方にこのメルマガを紹介してもらえませんか。

登録については，山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

◆ブログのお知らせ◆◇◆

学級づくりについて，特別活動の実践を絡めながら，チョット思ったことや考えたことを綴るブログを始めました。明治図書さんの「Edu ブログ」を使わせてもらっています。いま，なかなか調子よく進んでいます。もし興味ある方はのぞいてみてください。

<http://edublog.jp/moomin/>

=====

山口学級活動ネットワーク メールマガジン

☆感想・ご意見はsugi-net@c-able.ne.jpまで

☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部

梶田崇晴（山口市立平川小）

津村元文（防府市立西浦小）

能勢雅子（山陽小野田市立高千帆小）

吉田哲朗（山口大学附属山口小）

=====